



F コマンド

この章では、F で始まる Cisco NX-OS イーサネット コマンドおよび仮想イーサネット コマンドについて説明します。

feature flexlink

Flex Link をイネーブルにするには、**feature flexlink** コマンドを使用します。Flex Link をディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

feature flexlink

no feature flexlink

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンドデフォルト

ディセーブル

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N2(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、スイッチ上の Flex Link をイネーブルにする例を示します。

```
switch(config)# feature flexlink
```

関連コマンド

コマンド	説明
show feature	スイッチの機能のステータス（イネーブルまたはディセーブル）を表示します。
switchport backup interface	相互にバックアップする 2 個のインターフェイスである Flex Link をレイヤ 2 インターフェイスに設定します。

feature interface-vlan

VLAN インターフェイスの作成をイネーブルにするには、**feature interface-vlan** コマンドを使用します。VLAN インターフェイス機能をディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

feature interface-vlan

no feature interface-vlan

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンド デフォルト

VLAN インターフェイスはディセーブルです。

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

feature interface-vlan コマンドは、VLAN インターフェイスを作成する前に使用する必要があります。

例

次に、スイッチでインターフェイス上の VLAN 機能をイネーブルにする例を示します。

```
switch(config)# feature interface-vlan
```

関連コマンド

コマンド	説明
interface vlan	VLAN インターフェイスを作成します。
show feature	スイッチ上でイネーブルまたはディセーブルになっている機能を表示します。

feature lacp

Link Aggregation Control Protocol (LACP) をイネーブルにするには、**feature lacp** コマンドを使用します。LACP は、複数の物理ポートをまとめて単一の論理チャネルを作成します。スイッチで LACP をディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

feature lacp

no feature lacp

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンド デフォルト

LACP はディセーブルです。

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

LACP をディセーブルにするには、スイッチのすべてのポート チャネルからすべての LACP コンフィギュレーション パラメータを削除する必要があります。

グローバルに LACP をイネーブルにした後でも、スイッチのすべてのポート チャネルで LACP を実行する必要はありません。各チャネル モードで LACP をイネーブルにするには、**channel-group mode** コマンドを使用します。

例

次に、スイッチで LACP ポート チャネルをイネーブルにする例を示します。

```
switch(config)# feature lacp
```

関連コマンド

コマンド	説明
show lacp	LACP に関する情報を表示します。
show feature	LACP がスイッチでイネーブルになっているかどうかを表示します。

feature lldp

ネットワーク デバイスがネットワーク上の他のデバイスに自分の情報をアドバタイズするために使用するネイバー探索プロトコルであるリンク層検出プロトコル (LLDP) は、スイッチにおいてデフォルトでイネーブルです。

コマンド デフォルト イネーブル

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(0)N1(1a)	この機能が導入されました。

使用上のガイドライン Cisco Nexus 5000 シリーズ スイッチ上では、LLDP をイネーブルまたはディセーブルにできません。LLDP はスイッチではデフォルトでイネーブルです。ただし、**feature lldp** コマンドは、次のようにスイッチの実行コンフィギュレーションの一部として表示されます。

```
switch# show running-config

!Command: show running-config
!Time: Tue Feb 10 12:36:03 2009

version 5.0(3)N1(1)
feature telnet
feature lldp

username admin password 5 $1$d8lkfqC8$4VfRuOoZTKvCtTq8VAKbq/ role network-admin
no password strength-check
ip domain-lookup
hostname switch
class-map type qos class-fcoe
class-map type qos match-all c1
  match cos 1
<--Output truncated-->
switch#
```

Cisco Discovery Protocol (CDP) は、すべてのシスコ デバイス (ルータ、ブリッジ、アクセス サーバ、およびスイッチ) のレイヤ 2 (データ リンク層) 上で動作するデバイス検出プロトコルです。ネットワーク管理アプリケーションは CDP を使用することにより、ネットワーク接続されている他のシスコ デバイスを自動的に検出し、識別できます。

スイッチでは他社製のデバイスをサポートし他のデバイス間の相互運用性を確保するために、リンク層検出プロトコル (LLDP) をサポートしています。LLDP は、ネットワーク デバイスがネットワーク上の他のデバイスに自分の情報をアドバタイズするために使用するネイバー探索プロトコルです。このプロトコルはデータ リンク層で動作するため、異なるネットワーク層プロトコルが稼動する 2 つのシステムで互いの情報を学習できます。

関連コマンド	コマンド	説明
	lldp	スイッチにグローバル LLDP オプションを設定します。
	lldp (インターフェイス)	インターフェイスに LLDP 機能を設定します。
	show feature	スイッチで LLDP がイネーブルになっていることを表示します。

feature port-security

レイヤ 2 インターフェイスでポート セキュリティをイネーブルにするには、**feature port-security** コマンドを使用します。ポート セキュリティをディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

feature port-security

no feature port-security

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンド デフォルト

ディセーブル

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

ポートにアクセスできるスイッチの MAC アドレスを制限および識別することによってポートを保護するには、ポート セキュリティ機能を使用します。

次の場合にのみ、仮想ポート チャネル (vPC) ポートでポート セキュリティをイネーブルにすることができます。

- vPC ピアの両側でポート セキュリティをイネーブルにする場合
- vPC ピアの両側の vPC ポートでポート セキュリティをイネーブルにする場合

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、スイッチ上でポート セキュリティをイネーブルにする例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# feature port-security
switch(config)#
```

次に、スイッチ上でポート セキュリティをディセーブルにする例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# no feature port-security
switch(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show feature	スイッチ上でイネーブルまたはディセーブルになっている機能を表示します。
show port-security	ポートセキュリティのコンフィギュレーション情報を表示します。
switchport port-security	ポートセキュリティを確立するようにスイッチポート パラメータを設定します。

feature private-vlan

プライベート VLAN をイネーブルにするには、**feature private-vlan** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

feature private-vlan

no feature private-vlan

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンドデフォルト

プライベート VLAN はディセーブルです。

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

プライベート VLAN コマンドは、ユーザがプライベート VLAN 機能をイネーブルにするまで使用可能になりません。

プライベート VLAN モードのスイッチに動作中のポートがある場合は、プライベート VLAN をディセーブルにはできません。



(注)

現行リリースの Cisco NX-OS を実行している Cisco Nexus 5000 シリーズ スイッチのプライベート VLAN 独立ポートは、IEEE 802.1Q のカプセル化をサポートしておらず、トランク ポートとして使用できません。

例

次に、スイッチでプライベート VLAN 機能をイネーブルにする例を示します。

```
switch(config)# feature private-vlan
```

関連コマンド

コマンド	説明
private-vlan	VLAN をコミュニティ、独立、プライマリいずれかのプライベート VLAN に設定します。
show vlan private-vlan	プライベート VLAN に関する情報を表示します。機能がイネーブルになっていない場合には、このコマンドは使用できません。
show feature	プライベート VLAN がスイッチでイネーブルになっているかどうかを表示します。

feature udd

シスコ独自の Unidirectional Link Detection (UDLD; 単方向リンク検出) プロトコルをイネーブルにするには、**feature udd** コマンドを使用します。UDLD をイネーブルにすると、光ファイバまたは銅線イーサネット ケーブルを介して接続されているポート上で、ケーブルの物理設定をモニタし、単方向リンクの存在を検出できます。スイッチで UDLD をディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

feature udd

no feature udd

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンド デフォルト

UDLD はディセーブルです。

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1a)N1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、スイッチの UDLD をイネーブルにする例を示します。

```
switch(config)# feature udd
```

関連コマンド

コマンド	説明
show udd	管理上および運用上の UDLD ステータスを表示します。
show feature	UDLD がスイッチでイネーブルになっているかどうかを表示します。

feature vmfex

Cisco 仮想マシン ファブリック エクステンダ (VM-FEX) をイネーブルにするには、**feature vmfex** コマンドを使用します。VM-FEX をディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

feature vmfex

no feature vmfex

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンド デフォルト

ディセーブル

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用する前に、必ず **install feature-set virtualization** コマンドを使用して仮想化 フィーチャ セットをインストールし、**feature-set virtualization** コマンドを使用してそのフィーチャ セットをイネーブルにしておきます。

仮想イーサネット インターフェイスまたはポート プロファイルのコンフィギュレーションをイネーブルにした状態で VM-FEX 機能をディセーブルにしようとすると、スイッチはエラー メッセージを返します。

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、スイッチ上で VM-FEX をイネーブルにする例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# feature vmfex
switch(config)#
```

次に、スイッチ上で VM-FEX をディセーブルにする例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# no feature vmfex
switch(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
feature-set virtualization	仮想化機能をイネーブルにします。
interface vethernet	仮想イーサネット インターフェイスを設定します。

コマンド	説明
install feature-set virtualization	スイッチ上で仮想化機能をインストールします。
port-profile	ポート プロファイルを設定します。
show feature	スイッチ上でイネーブルまたはディセーブルになっている機能を表示します。
show feature-set	仮想化フィーチャセットのステータスを表示します。
switchport mode	非トランキングでタグなしの単一 VLAN イーサネット インターフェイスとして、インターフェイスを設定します。

feature vtp

VLAN Trunking Protocol (VTP; VLAN トランキング プロトコル) をイネーブルにするには、**feature vtp** コマンドを使用します。VTP をディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

feature vtp

no feature vtp

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンドデフォルト

ディセーブル

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.2(1)N1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、スイッチで VTP をイネーブルにする例を示します。

```
switch(config)# feature vtp
```

関連コマンド

コマンド	説明
show vtp status	VTP 情報を表示します。
vtp	VTP を設定します。

feature-set virtualization

スイッチ上でシスコ仮想マシン機能をイネーブルにするには、**feature-set Virtualization** コマンドを使用します。仮想化機能をディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

feature-set virtualization

no feature-set virtualization

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン



(注) シスコ仮想マシン機能は、Cisco Nexus 5500 シリーズ スイッチでだけサポートされます。

このコマンドを使用する前に、**install feature-set virtualization** コマンドを使用して、必ずスイッチ上で仮想化フィチャセットをインストールしておきます。

スイッチ上でシスコ仮想マシンをイネーブルにするまで、仮想化コマンドの表示や仮想化コマンドへのアクセスはできません。



(注) スイッチでの仮想化をイネーブルにする前に、シスコ仮想マシンのフィチャセットをインストールする必要があります。

スイッチでこの機能をディセーブルにする前に、次の作業を実行します。

- スイッチ上のすべての仮想イーサネット インターフェイス コンフィギュレーションを削除します。
- スイッチ上のすべての仮想ネットワーク タグ (VNTag) コンフィギュレーションを削除します。
- すべての vethernet タイプのポート プロファイルを削除します。
- **switchport mode access** コマンドを使用してポート モードをアクセスに変更します。

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、スイッチ上の仮想化機能をイネーブルにする例を示します。

```
switch# configure terminal
```

```
switch(config)# feature-set virtualization  
switch(config)#
```

次に、スイッチ上の仮想化機能をディセーブルにする例を示します。

```
switch# configure terminal  
switch(config)# no feature-set virtualization  
switch(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
feature vmfex	スイッチ上で Cisco 仮想マシン ファブリック エクステンダ (VM-FEX) をイネーブルまたはディセーブルにします。
install feature-set virtualization	スイッチ上で仮想化機能をインストールします。
show feature-set	仮想化フィーチャ セットのステータスを表示します。